

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 29 年 2 月 24 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから都市ガスへの更新プロジェクト
プロジェクト番号	KC0072
排出削減事業者名	茶久染色株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン
事業実施場所	茶久染色株式会社 本社工場 (愛知県一宮市開明字荊安賀道 31 番地)
事業の概要	A 重油ボイラ 3 台を都市ガスボイラへ更新する。1 台の A 重油ボイラを設備更新し、2 台の A 重油ボイラをバーナー交換することによるボイラの高効率化による燃料使用量の削減及び低炭素へエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2008 年度 509tCO2/年 2009~2012 年度 1,018tCO2/年 2013 年度 1,350tCO2 2014~2015 年度 947tCO2 2016 年度 513tCO2 (事業実施期間合計 8,338t-CO2)
クレジット 認証期間	開始日 2008 年 10 月 16 日 終了日 2016 年 10 月 15 日
排出削減方法論	方法論番号 001 : ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年10月15日（第4回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	3,504 tCO ₂ （2013年4月1日～2016年10月15日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを、以下のとおり確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 今回は4回目の実績確認であり、当該確認は省略。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 ボイラー日誌、ガス会社からの請求書をレビューし、導入設備は実績報告期間において稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 関係者への質問や、ボイラー日誌、ガス会社からの請求書等を確認し、方法論及び承認排出削減計画に沿って実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 関係者への質問、活動量の実績データの検証、排出削減量算定の検証等により、制度の実施規定及び承認排出削減事業計画通り、正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認

	<p>承認排出削減事業計画通りのモニタリング対象指標がリストアップされ、使用されている単位発熱量と排出係数が J-クレジット制度・モニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver2.6 によるデータであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
算定期間が移行期間内であること	算定期間は 2016 年 10 月 15 日までであり、プロジェクト終了日である 2016 年 10 月 15 日を超えない事を確認した。

5. 承認排出削減事業からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

特になし。

6. 特記事項

本プロジェクトでは、CO2 排出量の削減は達成しているが、省エネルギーにはなっていないことを確認した。